

令和3年度第10回学校運営協議会議事録

令和4年2月10日（木）14：30～15：30

オンライン会議（teamsにて開催）

1. 参加者自己紹介

協議会委員7名、校長1名、教員5名 計13名

2. 全体共有事項

（1）1月の会議の議事録確認

（2）杉十フレンズ活動報告

- ・漢字検定…1月29日に170名が受験した。欠席の15名は来年度への繰り越し受験の手続きを行った。

（3）令和3年度卒業式・令和4年度入学式・かがやき通信 vol.5

- ・卒業式 … 教育委員会から来賓1名が参加し祝辞。
- ・入学式 … 区内全校、区長のお祝いの言葉の動画を流す。
- ・かがやき通信 vol.5 … 今年の漢字大賞、CSチャレンジの記事が入った初稿の確認。

（4）令和4年度教育課程について

- 次年度の教育課程について意見を出し合い承認を行うことも学校運営協議会の役割の一つ。
今回は校長だけでなく、各担当教員からも教育課程の説明を行った。

・概要説明 教育課程編成についての考え方（校長より）

教育ビジョン2022と今まで杉十小が進めてきたことに差はない。今までの方向を維持しつつ、ビジョンの大きな観点を追加している。

・様式1 教育目標・基本方針（校長より）

教育目標に「主体的に学び」「自ら決めた」を追記し、先生や大人が決めた目標でないことを強調。
基本方針にも、「学びの成果を贈り合い」「社会の当事者として」「児童自らが設定」「ちがいを受け入れ」などビジョンに沿った言葉を入れた。

・様式2 指導の重点（教員より）

学習者主体というのが目指すところ。自分で学びを考えてやっていく。周りはそのサポート。
各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

・様式3 生活指導・安全指導等（教員より）

安全は根底で、安全指導を徹底する。子どもが安心・安全で明日が待ち遠しいと思える学校に。
生活指導・教育相談体制の充実、安全指導・安全教育、キャリア教育・一貫性のある教育の接続、特別支援教育

・様式4・5 授業日数・行事予定等（教員より）

昨年度と同じ授業日数・授業時数とし、子どもも教員もゆとりを持って進めていけるようにした。

■質疑応答



CS 委員より

学びの成果を贈り合いの「贈り」は意味があるのか？プレゼント？考えがある？

校内の先生との面談を行い、教育ビジョンで一番印象に残ったところを聞いて多かったのが「学びの成果を贈り合い」の箇所だった。実際、授業の中で先生が子ども達に「自分で考えたことをプレゼント、贈り合うことだね！」と話し、子ども達も違和感なく受け入れていた。



校長より



CS 委員より

学校評価を教育課程に生かすことに意味がある。評価がどこに生かされている？

評価で肯定率の高い「蚕糸の森研究所」は来年度も継続する。ただ、今まで誰を呼ぶかを決めていたのは教員だった。来年度は学びの当事者として子ども達が「これを学びたいから、この人を呼びたい。」という形で反映させたい。一方、肯定率の低い「教育相談」については教育相談体制の強化を図っていく。また、先生からの意見を反映させたゆとりのある授業時数とした。



校長より



CS 委員より

教育目標は子どもがぱっと見て分かるような言葉がいいと思う。「主体的に学び」というのは分かるのか？

子ども達に分かるようにしないとけない。

「主体的に」とは「自分で」ということ。進んでぐんぐんやる子がいいとは考えていない。



校長より

子ども達には「学びのコントローラーを握る」と言っている。どちらにどう進むか、どう取り組むかを自分で考えるということ。



教員より

「自分事としてとらえる」
「自分の考えをもつ」

「主体的とはこういう意味だよ」と教えていきたい。

子ども達には「学習の主人公はみんなです」と話している。



CS 委員より

先生達が子どもだった時、学校の教育目標が言えたか？杉十小の子ども達は「かがやき」と言える！子どもが自分の学校の目標を知っていることが大事。文字は文字として、子どもに分かりやすく伝えることでいいのではないかな？



CS 委員より

外国語教育のこと。高南中では英検受験する生徒が増えて、トライする級も上がっている。英検は学期に1回ペースで年3回あり、今年度になってから毎回、準2級は10人以上が受験し、2級の受験者も出ている。小学校の学びのベースがあって、効果が目に見えてきているということを伝えておきたい。

嬉しい！みんなに伝えたい。子ども達は英語を話すことに度胸がついてきている。「最終的には心だ！」と言っていて、子ども達も自信がついてきている。



教員より

■教育課程の承認 → 全員拍手で承認。

3. 連絡事項

・協議会会長より

今日の教育課程の承認に、5人の先生が参加し説明してくれて議論することができた。とても良かったと思う。今までの協議会には無かったこと。協議会の可能性を感じた。オンラインでない会議でも先生達を迎えてやっていきたい。

以上